

第107回未来医療セミナー

2019年4月26日(金)18:00-19:00

大阪大学吹田キャンパス

最先端医療イノベーションセンター(CoMIT) 1F マルチメディアホール

「がんのウイルス療法の臨床開発」

東京大学医科学研究所 先端がん治療分野 教授
東京大学医科学研究所附属病院 脳腫瘍外科 科長
藤堂 具紀

ウイルス療法は、がん細胞特異的に複製するウイルスを用い、その直接的な殺細胞作用によりがん細胞を破壊する。三重変異を有する第三世代のがん治療用単純ヘルペスウイルスI型G47Δは、がん細胞に限ってウイルス複製能が増強し、抗腫瘍免疫をより強く惹起し、更にごん幹細胞を効率良く殺すことから、安全性と治療効果が格段に向上した。膠芽腫を対象としたFIM試験を経て、第II相試験が医師主導治験として2015年から実施され、その間、先駆け審査指定と希少疾病用製品指定を得た。治験の中間解析の結果、極めて高い治療成績と安全性が示されたため、この治験をpivotal studyとして製造販売承認申請を行う。ウイルス療法ががんの治療選択肢となる時代が到来した。

主催：未来医療交流会

共催：橋渡し研究戦略的推進プログラム

大阪大学「戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現」

後援：大阪大学医学部附属病院未来医療センター

お問い合わせ

大阪大学医学部附属病院未来医療センター

ctr.osakauniv@dmf.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp>

障がいのある方など、特別な配慮が必要な場合は、事前にご連絡ください。